

注) この地盤調査結果報告書は以下に示す資料を添えて、工事着工までに提出して下さい。

地盤調査結果報告書(小規模建築物用)

記入例

アール・イー・ジャパン(株)様

地盤調査の結果について下記のとおり報告します。(設計者)

資格 ()建築士 ()登録 第 号
氏名 () (印)

1. 建築物の概要

確認年月日 平成 年 月 日
確認番号 第 REJ - 号
建築場所

2. 確認申請時の調査方法等の概要

A.地盤確認方法

- 試験掘り及び目視確認
 近隣データ※地層構成、支持層、地盤の特性値が判断できるもの
 その他 ()

B.設計地耐力

30 kN/m² (長期)

3. 工事着手前にした地盤調査方法等の概要

A.地盤調査方法

- ボーリング標準貫入試験 スウェーデン式サウンディング試験
 その他 ()

B.調査結果地耐力

15 kN/m² (長期)

直接入力もできます。

C.地耐力算出根拠

- 告示式(平13告1113号第2による)
 載荷試験(平13告1113号第4による)
 その他 ()

D.スウェーデン式サウンディング試験の場合の調査深さが、基礎底部から5mに満たない時の設計者による考察
測定したポイントの全てにおいて、3m程度で貫入不能であった。

E.スウェーデン式サウンディング試験の場合に500N以下で自沈する層がある場合の設計者による考察
沈下による変形等を考慮して建築物又は建築物の部分に有害な損傷、変形及び沈下がないことを確認した。

4. 基礎構造の確定並びに地盤の改良若しくは補強等の必要性

A.基礎の位置、形状及び寸法

- 確認申請時以降に変更なし。

並びに材料の種別

- 確認申請時以降に変更あり。(変更の概要:)

B.地盤改良、地盤補強等の

- 表層の締固め 砕石置換 柱状改良 表層改良

工法

- 深基礎 基礎ぐいその他の工法()

注意1 確認申請時に令93条ただし書の適用を受けた場合は、この報告書とともに地盤調査資料(設計地耐力未滿である場合は、改良検討書を含みます。)を添付して下さい。また、地盤調査資料には以下の事項について明示して下さい(規則1条の3)。

- ① 地盤調査方法及びその結果
- ② 地層構成、支持地盤(杭若しくは改良底)及び建築物(地下部分を含みます。)の基礎の位置
- ③ 地下水位(地階を有しない建築物に直接基礎を用いた場合を除きます。)
- ④ 構造計算において用いた支持層の位置、層の構成及び地盤調査の結果により設定した地盤の特性値

注意2 地盤の許容応力度の算出方法について、別紙(又は地盤調査資料)にて示して下さい。(規則1条の3)

注意3[地盤改良工事が必要な場合は地盤改良検討書(設計者印要)、改良体の配置図、仕様書を添付して下さい。なお、基礎構造の変更が必要となった場合は計画変更に応じます。]

注意4[砂質土で液状化のおそれがある場合は、別途検討書を添付してください。]

構造設計一級建築士の設計又は関与を要する場合は、その者の資格番号、記名及び押印